

第2回「弘前市のまちづくりを考えよう」 市民会議(ワークショップ)の進め方

1 第2回ワークショップの目的

- ◆第1回のワークショップで出た意見を振り返る。
- ◆検討テーマごとに弘前市がめざすべき将来のまちの姿（将来都市像）を洗い出す。

2 本日のプログラム

タイムテーブル (予定)	内 容	備考
13時30分 ～13時40分	開会 1 はじめに (1) 配布資料の確認 (2) 本日のプログラム (3) ワークショップの進め方	事務局からご説明します
13時40分 ～15時15分	<グループごとの検討> 2 ワークショップによる検討 (1) 第一回ワークショップの振り返り (2) 「弘前市が目指すべき将来のまちの姿（将来都市像）」の洗い出し (3) 出された意見のとりまとめ	グループごと適宜、休憩をはさみます
15時15分 ～15時30分	<全体会議> 3 本日の検討結果の振り返り (1) 本日の検討結果の発表（各3分以内） (2) 次回の日程とテーマの説明	発表者は各グループの話し合いで決定します
15時30分	閉会	

3 検討テーマ

参加メンバー全員が均等に発言できる機会を確保し、かつ活発な話し合いが行えるよう、引き続き A～D4つのグループに分かれて検討を行います。各グループでは、以下の4つのテーマそれぞれについてご議論いただきます。

<検討テーマ等>

検討テーマ	主な論点
ひとづくり	どのような人材が求められ、育まれるまちになるべきか
くらしづくり	どのような魅力があるまちになるべきか
なりわいづくり	どのような仕事で生活の糧を得られるまちになるべきか
まちづくり	どのような住みやすさを感じられるまちになるべきか

4 第2回目のワークショップの具体的な進め方

※4つのグループに分かれて検討を行います。

1) 第1回ワークショップの振り返りを行います

【目安の時間：10分程度】

- 第1回のワークショップで出た意見を、グループのメンバーで改めて確認・共有します。



2) 自分が考える「弘前市が20年後に目指すべき将来のまちの姿（将来都市像）」を発表します

【目安の時間：50分程度】

- 一人ずつ順番に、事前にワークシートに書き出したアイデアを発表し合い、（テーマごとにシートを切り離してから）模造紙上に貼り出します。
- 事前に記入し忘れた方は、この時間を使ってシートに記入して下さい

<書くときのポイント>

- ・第1回のワークショップで出た「20年後に向けて、今後弘前市が地域全体で取り組んでいくべきこと」を実施することによって、最終的にどんなまちにしたいかについて書いて下さい。
- ・市の将来都市像として、分かりやすくイメージしやすい言葉で考えて下さい。
- ・今後20年間に起こりそうな社会の変化を意識して考えて下さい。

テーマを選択

第2回市民会議（ワークショップ）事前準備用ワークシート 20年後の弘前市が目指すべきまちの姿（将来都市像）

検討テーマ ひとづくり くらしづくり なりわいづくり まちづくり

※何のテーマに関する将来都市像（目指すべきまちの姿）であるか、

目指すべき将来のまちの姿

まち

※どんなまちになってもらいたいのか

という思いをこめました

※上記の目指すべきまちの姿に込めた思い

上記の理由・考え方

()

ワークシートの
キリトリ線に沿って
切り離します

【参考：記入例】

○ひとづくり

- ・市民が自ら考え行動し、互いに助け合うまち
- ・多様な世代がそれぞれの価値を発揮するまち

○くらしづくり

- ・誰もが健康でいつまでも元気に暮らせるまち
- ・ふるさとの伝統・文化を大切に守り続けるまち

○なりわいづくり

- ・地域の豊かな魅力を活かし、人やモノを呼び込むまち
- ・人と賑わいが絶え間なく続くまち

○まちづくり

- ・都市と自然が共存するまち
- ・雪に強くコンパクトなまち

休憩（10 分程度）



5) 発表された意見を確認し合います

【目安の時間：20 分程度】

- 模造紙を見ながら、意見の分類や似た意見等を確認し、必要に応じて追加・修正を行ったうえで、グループの意見としてとりまとめます。



6) 本日の検討結果を振り返ります

【目安の時間：15 分程度】

- 各グループの検討結果を報告し合い、参加メンバー全員で本日の検討結果を共有します。

以上、本日の予定

※第3回（8月24日）では、第2回の議論の振り返りを行なうとともに、「将来のまちの姿の実現に向けて、市民や事業者が担うべき役割」の検討を行います。

※後日、事務局が各グループの検討結果をプリントにとりまとめ、参加メンバー全員に郵送します。

※第1回・2回の検討結果とともに、**事前に「将来のまちの姿の実現に向けて、市民や事業者が担うべき役割」をご記入いただくためのワークシートを送らせていただきますので、第2回に向けた検討の準備をお願いします。**

5 円滑な運営に向けた基本ルール

参加メンバーの活発な議論を促し、より実りの多い会議とするための基本ルールを、次のように定めます。これらのルールを守っていただき、有意義な話し合いを進めてまいりたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

*** 円滑な運営に向けた会議の基本ルール ***

- ①メンバー全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。
- ②各メンバーの発言を尊重し、はじめから否定することのないよう配慮しましょう。
また、メンバーの話しを遮るような発言は慎み、円滑な会議進行に努めましょう。
- ③限られた時間の中、各メンバーができるだけ多く発言できるよう、発言時間が長くないよう配慮しましょう。
- ④特定の個人や団体などのひぼう中傷につながる発言はやめましょう。
- ⑤全体を見渡した視点から議論を行い、特定の地域や団体などの個別利益を優先する立場に陥らないようにしましょう。
- ⑥意見が対立した場合、問題の所在などを明らかにした上、合意形成に向けてお互いに歩み寄りましょう。
- ⑦いったん合意した内容は尊重し、議論を前に進めましょう。
- ⑧会議の内容の取扱いについては、十分に注意しましょう。（ブログへの不適切な書き込みなど）
- ⑨個人情報については、保護の重要性を十分認識し、メンバーの利益を害することのないよう努めましょう。